

# 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

<b>施設名</b>	新潟市マンガ・アニメ情報館及び新潟市マンガの家				
<b>管理者名</b>	にいがたアニメ・マンガプロジェクト共同体	<b>指定期間</b>	平成30年4月1日	～	平成35年3月31日
<b>担当課</b>	文化スポーツ部文化政策課				
<b>所在地</b>	新潟市マンガ・アニメ情報館：新潟市中央区八千代2丁目5番7号 万代シテイ・BP2 1階 新潟市マンガの家：新潟市中央区古町通6番町971番地7 GEO古町通6番町 1・2階				
<b>根拠法令</b>					
<b>設置条例</b>	新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家条例				
<b>施設概要</b>	<p>【新潟市マンガ・アニメ情報館】</p> <p>建築構造：鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上4階建て</p> <p>専有面積：914.47㎡</p> <p>施設：常設展示コーナー、企画展示コーナー、ミニシアター、交流体験スペース・閲覧コーナー</p> <p>【新潟市マンガの家】</p> <p>建築構造：鉄筋コンクリート造陸屋根8階建て</p> <p>延床面積：349.07㎡</p> <p>施設：常設展示コーナー、企画展示コーナー、交流体験スペース・閲覧コーナー</p>				

施設設置目的
新潟のマンガ文化及びアニメーション文化を次世代に継承し、及び発展させることにより、市民の文化活動の振興に資するとともに、これらの文化を市内外に発信することにより、本市の観光交流の推進及び地域の活性化を図ることを目的とする。

管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>1 基本理念</p> <p>(1) マンガ・アニメを本市文化施策の主要な柱に位置づけ、市民の誇りとなるよう、その継承と発展に努める。</p> <p>(2) マンガ・アニメとゆかりの深い本市の特性を活かした取り組みを進め、国内外に発信し、多様な交流を促すことで地域の活性化を実現する。</p> <p>2 展開の方向性</p> <p>(1) 本市と強いつながりのあるマンガ・アニメ文化紹介</p> <p>(2) 市内はもとより市外や海外からの来館者、リピーター創出</p> <p>(3) マンガ・アニメの世界観を体感できる体験型の展示構成</p> <p>(4) まちなかのコンテンツと連携し、多様な交流とまちの活性化実現</p> <p>(5) 子どもたちの夢や想像力を育む事業展開</p> <p>3 実施事業</p> <p>施設の設置目的を達成するために以下の事業を行う。</p> <p>(1) マンガ・アニメに関する資料等を収集し、保存し、調査し、及び研究すること</p> <p>(2) マンガ・アニメに関する資料等の公開及び閲覧に関すること</p> <p>(3) マンガ・アニメの普及及び啓発に関すること</p> <p>(4) マンガ・アニメに関する交流及び体験活動に関すること</p> <p>(5) マンガ・アニメに関する講演会、講座等を開催すること</p> <p>4 管理運営方針</p> <p>(1) 当該業務において善良なる管理者の注意をもって実施する義務を負うものとする。</p> <p>(2) 施設の設置目的を踏まえて、新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家の一体的な管理によりその効果を最大限発揮させるよう、努力するものとする。</p> <p>(3) 業務全般について計画立案を行い、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針のもとで、仕様書に示す多岐にわたる業務について適切に進捗管理を行い実施するものとする。</p> <p>(4) 指定管理者は、施設の管理について創意工夫のある企画や効率的な運営等により、入館者の多様なニーズに応え、質の高いサービスの提供を図り、効果的・効率的な管理運営を目指すもの</p>

平成30年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	施設入館者数	情報館・マンガの家合わせて年140,000人以上	・情報館 127,976人 ・マンガの家 34,522人 両館合計 162,498人	A	目標を大きく上回り評価できる。
	企画展の実施	・情報館 年4回以上 ・マンガの家 年2回以上	・情報館 8回 ・マンガの家 2回	B	
	事業の実施	・マンガの家における制作実演参加者数 年1,000人以上 ・マンガ出張講座実施回数 年6回以上	・参加者数 1,872人 ・マンガ出張講座 10回	A	目標を大きく上回り評価できる。
	施設間の連携	情報館及びマンガの家の共通イベント等連携事業 年5回以上	連携事業 計18回	B	
	広報・PRの充実	・ホームページアクセス数 年300,000件以上 ・各種メディアへの掲出（取材含む） 年50回以上	・PV合計 409,997 ・メディア掲出 128回	A	目標を大きく上回り評価できる。
	入館者の満足度	入館者アンケートで「満足」が80%以上	満足+やや満足合計 ・情報館 89.85% ・マンガの家 89.7% （※年度途中よりアンケートフォーマットの変更あり）	B	
	要望・苦情に対する回答	要望・苦情には原則5営業日以内に回答	即日対応を基本とし遂行。特に大きな問題は発生していない。	B	
	自主事業の実施	施設の設置目的に合致した自主事業の実施	当会場でしか購入できないオリジナルグッズを制作し、販売した。（※ガルパンオリジナルTシャツ）	B	
財 務	運営経費の削減	管理運営経費を指定管理料年度協定額以下	指定管理料61,715,000円に対し、支出額61,715,000円	B	
	適正な財政運営、財務管理	収支計画に基づき収入の確保及び費用の執行、収支状況の記録	収支計画に基づき適正に執行。収支状況も月次、企画展ごとに記録し管理した。	B	
業 務	事業の適正な実施	・業務仕様書等に定める事業の実施及び遵守 ・業務マニュアルの作成	業務仕様書や業務マニュアルに基づき適正に実施。	B	
	市民協働の推進、地域・関係団体等との連携	地域、関係団体等との連絡調整会議、連携イベント開催 年1回以上	BP会議に出席。BPとの協働でガンブラ販売イベントの開催。T・ジョイ万代との連携実績あり。	B	
	社会・地域への貢献	再委託する場合は市内事業者への再委託及び物品等の市内事業者（店舗）からの調達率 90%以上	市内調達率95%	B	
	安心・安全の確保	・緊急連絡網、危機管理マニュアルの作成 ・防災訓練 年2回以上実施	緊急連絡網・危機管理マニュアルを現状に合わせ加筆修正。スタッフが即座に確認できる場所に配置。防災訓練は6月と11月に実施。	B	
	コンプライアンス	コンプライアンス研修の実施 1人あたり年1回以上	企画展開始前と新規職員採用時に実施。	B	
	業務仕様書の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	指定管理業務報告書の提出が遅れることがあった。	C	指定管理業務報告書類の提出遅延
人 材	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	法令順守を尽し問題なし。	B	
	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	職員業務研修の実施 1人あたり年2回以上	企画展開始前を目途に2回実施	B	
	市内雇用への貢献	市内居住者の雇用率 80%以上	市内居住者雇用率90.9%	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。（評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。）

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）

本年度も入館目標に対して、大幅に上回る結果を残すことができた。

■情報館

コアなファンを持つ『ガールズ&パンツァー博覧会(4月～5月)』、『あんさんぶるスターズ！～3rd Anniversaryファン感謝祭(9月)』、『A3!展(10月～11月)』や幅広いファンを持つ『THE GUNDAM BASE POP-UP TOKYO in NIIGATA(5月～6月)』、『鋼の錬金術師展(7月～8月)』などを開催。夏休みなどの大型連休に幅広いファンを持つコンテンツの企画展を開催するなど、入館目標を達成することができた。また、ガルパン博の際に新潟限定商品として制作・販売した「ビゲン高校Tシャツ(※作品上で新潟の高校という設定)」は、初日開館1時間程度で完売するなど、入館者増の一助となった。

■マンガの家

『木原敏江原画展(6月～10月)』、『『鬼火』の世界展(10月～1月)』を開催。1年のうち半分以上の期間で企画展を開催することにより、入館目標を達成することができた。

■その他

両館で7月～8月より記録を開始した「都道府県別来館者数集計」では県外の他、外国からの来館者数も数値として把握することができ、今後の広報対応に役立つ資料ともなるので、継続して行いたい。また、両館のパンフレットやホームページの多国語化(英語、中国語(繁体・简体)、韓国語)も実施し、国外からの誘客に向け活用を図っていききたい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 ( 所 見 )

施設入館者数が目標を大きく上回り、マンガ・アニメ情報館については、前年度より大きく増加しており評価できる。

マンガの家の来館者数が前年度と比較して減少しているため、展示来館者増に向けた工夫を期待する。

昨年度目標を下回った「マンガ講座」の参加者数についても、今年度は内容を工夫し目標を上回っており評価できる。

また、今年度より新規に評価項目として追加した「マンガ出張講座」について、マンガ・アニメ文化の普及につながるものであるため今後も継続的な実施に努めてほしい。

毎月の業務報告書について、翌月10日までに報告すべきものが遅れて提出されることが度々あるので、改善を求める。